

各 位

上場会社名 総合商研株式会社
 代表者 代表取締役会長 加藤 優
 (コード番号 7850)
 問合せ先責任者 常務取締役企画管理本部長 原田 正之
 (TEL 011-780-5677)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年9月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年7月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,450	百万円 490	百万円 480	百万円 270	円 銭 88.30
今回発表予想(B)	6,949	358	355	188	61.78
増減額(B-A)	499	△131	△124	△81	
増減率(%)	7.7	△26.8	△25.8	△30.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年7月期第2四半期)	6,125	563	557	322	105.58

平成22年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,000	百万円 270	百万円 270	百万円 140	円 銭 45.79
今回発表予想(B)	11,500	150	155	50	16.35
増減額(B-A)	500	△120	△115	△90	
増減率(%)	4.5	△44.4	△42.6	△64.3	
(ご参考)前期実績 (平成21年7月期)	10,525	256	253	118	38.81

修正の理由

(第2四半期累計期間業績)

売上高につきましては、主力の商業印刷事業において、北海道及び本州地区共に、新規取引の拡大、既存先との取引深耕が順調に推移したことから、前回の予想を上回る6,949百万円(前回予想比7.7%増、前年同四半期比13.5%増)となる見込みであります。

一方利益につきましては、コスト管理を徹底したものの、印刷用紙等の材料費の高止まり、名入れ年賀状の取扱件数の減少、貸倒れの発生、商業印刷の受注拡大に伴う営業体制強化で人件費が増加したこと等により、営業利益は358百万円(前回予想比26.8%減、前年同四半期比36.3%減)、経常利益は355百万円(前回予想比25.8%減、前年同四半期比36.2%減)、当期純利益は188百万円(前回予想比30.0%減、前年同四半期比41.5%減)となる見込みであります。

(通期業績)

通期業績につきましては、企業の広告宣伝費の抑制・削減の中にあって受注環境は厳しいものの、商業印刷事業の新規取引拡大が期初より堅調に推移していることから、売上高は11,500百万円(前回予想比4.5%増、前期比9.3%増)の見込みであります。

一方利益につきましては、上半年同様に厳しい経営環境にあり、コスト削減と採算管理を強化してまいりますが、印刷用紙等の材料費の高止まり、競争激化・広告宣伝費の抑制による受注単価の低下等により、利益率が低下傾向にあることから、営業利益は150百万円(前回予想比44.4%減、前期比41.5%減)、経常利益は155百万円(前回予想比42.6%減、前期比39.0%減)、当期純利益は50百万円(前回予想比64.3%減、前期比57.9%減)と前回発表予想を下回る見込みであります。

なお、当期の配当は前回公表の通り、1株当たり中間配当7円、期末配当8円を予定しております。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる可能性があります。

以 上